

歩み

あの日から
十年が経ちました

前に進もうと
まわりは言うのです
だけど

あまり前に
進みたくないのです
思い出が遠くなるから

前を見ようと
まわりは言うのです
だけど

どうしても
見つけられないのです
節目という区切りを

前を向こうと
まわりは言うのです
だけど

こころの歩幅は
ひとり、ひとり
違うのです

若色茜